

## 宮崎市立広瀬西小学生が遠足で水産業を学ぶ

2019年6月7日（金）、宮崎市立広瀬西小学校の5年生44名が遠足で宮崎県水産会館に訪れ、宮崎の水産業を学んだ。

漁連の職員3名が講師となり、①宮崎の水産業について、②水産の資源管理と環境保全について、③水産資源や環境保護についてをテーマに、プロジェクターを使って写真や動画、クイズを取り入れながら説明を行った。子ども達は、映し出される写真や動画に驚いたり、メモを取ったり、活発に質問する等、熱心に講話を聴いていた。



プロジェクターを使った講話



漁師の格好で登場

講話の最後に漁師の格好をした職員がかつお一本釣りの模型を持って登場すると、会場は一気に盛り上がり、その後の模型を使用した一本釣り体験では、子ども達は順番に一本釣りの疑似体験を行い、歓声の音が響き渡った。

子ども達には今回の体験を機に、更に宮崎の漁業について興味を深め、宮崎県産の魚介類を沢山食べてもらいたい。



クイズに積極的に挙手



かつお一本釣り体験